

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		地域生活支援事業費[移動支援事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 4	障害者福祉費	事業番号	6	
事業の種別	☐ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	障害福祉		課	障害福祉		係	課長名	大法 努	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 3		
【施策名】 障害者福祉の推進						総合計画書 (ページ)	55		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	身体(身体1・2級の車椅子利用者、視覚障害者)・知的・精神障害者			対象となる障害者数(身体(肢体不自由1・2級、視覚障害)知的・精神障害者)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	障害児・者への移動支援を行うことで、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動等の社会参加を促す。			利用者数/対象となる障害者数					
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	屋外での移動が困難な障害児・者に対して、市に登録した事業所が移動支援を行うヘルパーを派遣した場合、給付費を支給することで、障害者の社会参加を促進する。			利用者数					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	2,301	2,337	2,554			
	成果指標	②の数値	%	8.6	7.8	5.4			
	目 標	②の目標値							
		目標値設定の考え方 対象者に対し、適正に支給を実施する。申請に対して適正に給付をする事業であることから、「目標値」の設定についてはなじまない。							
活動指標	③の数値	人	198	183	138				
3 経費	事業費(実績)		円	43,864,626	42,292,916	27,017,445	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	22,623,626	21,637,916	12,990,445			
		特定財源	円	21,241,000	20,655,000	14,027,000			
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5			
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円	4,122,000	4,155,000	4,190,000			
		職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費		円	47,986,626	46,447,916	31,207,445				
4 環境変化等	(1) 開始年度		18 年度						
	(2) 環境の変化 ・支援費制度で知的障害者に対象が広がり、飛躍的に利用者が増えた。その後、児童の利用も増えている。 ・平成23年10月の支援法改正により、視覚障害者の移動支援が障害福祉サービスの同行援護になったため、対象者はやや減った。								

事業名称	地域生活支援事業費[移動支援事業]				
担当部署・課長名	障害福祉	課	障害福祉	係	課長名 大法 努

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	・事業所登録数は30カ所を超えているが、定期的なサービスでないため、時間や内容によってはヘルパー派遣ができないケースもある。派遣の条件や利用時間制限について、緩和を求める声がある。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）				
	・移動支援の時間数については、今後も近隣市の状況を注視し、課題改善の取組を行う必要がある。 ・ヘルパー不足については、移動支援に限ったことではないが、継続的に養成研修を行う必要がある。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。				
	・時間数の不足に対しては、給付費が増加することもあるため、適切に支給決定事務を行うにとどまっている。 ・ヘルパー不足に対して、市で移動支援従事者養成研修を実施した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
	施策名： 障害者福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・適切な支給決定事務を行い、利用者が使いやすいように制度の見直し等を行う必要がある。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・養成研修の実施に当たり、国や都の補助を活用しなければならないが、一定程度市の支出が生じる。				